

きらら

創刊号

発行
 社会福祉法人 カナン
 発行人
 理事長 前田 庄一
 南河内郡河南町寛弘寺101番地
 TEL 0721-90-3200
 編集
 カナン広報委員会

『きらら』創刊号 発行にあたり

理事長 前田 庄一

平成十七年、社会福祉法人カナンを創設して三年有余、おかげ様で順調な歩みを続けております。これはひとえに当老人ホーム建設に当たり深いご理解とご支援を頂いた地元住民の皆様、創設に必要な諸手続き等を懇切にご指導・ご助言下さった関係機関そして現在介護をはじめ多様な業務に携わっていただいている職員の方々、更には今当ホームをご利用下さっている高齢者とそのご家族等全ての人々のお力添えの賜物と受け止め、心から感謝申し上げます。

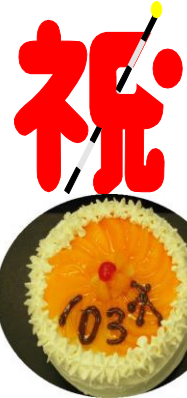


私は、若くして両親を病気で亡くしました。終戦間もない荒廃とどん底の時代を一家の支柱となつて、辛酸を舐め苦勞を一身に背負つて生きて参りました。しかし、二つの逆境が今日の私を育ててくれたように思います。これは、戦争で親、兄弟を亡くし失意と廃虚の中で生き続け、苦難にめげず立ち直つた多くの人々に通じる事で、その苦勞の積み重ねが戦後日本の復興と繁栄をもたらしたと存じます。

日本は今、世界屈指の経済大国に発展し豊かな時代を謳歌しておりますが、その基盤を作られた人々が高齢を迎えておられます。早くから高齢者福祉の改善と増進が、日本社会の急務と叫びながら取り巻く環境は、必ずしも万全とは言えないのが現状です。年金・医療・保険・介護のどの分野にも厳しい実態が待っています。

高齢者が健康で生きがいを持ち、実社会の一員として実のある人生を全う出来る様、援助を深める使命感を私たちひとりひとりが負うべきかと存じます。

社会福祉法人カナンは、微力ながら高齢者福祉の一端を担い、関係の皆様ともども、精進・努力致したいと存じます。各位の一層のご指導とご援助をお願いいたします。



おめでとうございます！

西野 スギノ 様

明治三十九年五月十三日生まれ

さくらユニットに入居の西野スギノさんが先日一〇三歳のお誕生日を迎えられました。

スタッフ 『一〇三歳になられた感想は？』
 西野さん 『一〇三歳は、生き過ぎやく』

(照れくさそうに)

『まだまだこの調子やと生きるわ』

(苦笑・・・)



いつまでも
 「あんり長寿一」の座を
 守り続けていただきたいと思います
 思います。

平成二十一年五月二十四日(日)
 家族会総会が開催され、多数のご家族様
 が参加して下さいました。

今年度は家族会から『松花堂弁当箱』
 を寄贈して頂くことになりました。

総会后、2階『二上ユニット』の入居
 者様が歌や演奏を披露して下さい
 ました。



新入職員の紹介



河邊 園可 (かわべ そのか)

個々のADLをしっかり把握し、その方に合った介助方法を見て、聞いて、学びしっかり身につける。何事にも積極的に取り組み、全力で頑張るのでよろしくお願ひします。



結城 亜衣子 (ゆうき あいこ)

私の目標は、業務をなるべく早く覚える事です。まだまだ分からない事が沢山で、何をしたらいいのかも分からないので、積極的に業務を覚えていきたいと思っています。いろいろな方に迷惑をかけるかもしれませんが、少しずつ慣れていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



愛ある介護

北浦統括主任コメント

御入職おめでとうございます。スタートを切ったばかりで緊張しきりの毎日を送り、慣れない業務に走り回っている事と思います。一日でも早く、職場の雰囲気、業務に馴染めると良いですね。少しでも多くの喜び、楽しみを見出し、「介護士」という仕事に対してやりがい、誇りの持てる職員になってほしいと思います。なにより皆さんのすぐ隣には同期、先輩職員含め、苦楽を共にできる「仲間」がいるのですから・・・一緒に頑張りましょう。

特養部門としては、「より個別化を目指して」を今年度の目標とし、各フロア、ユニットにおいてより個々の生活歴を活かしたケアを実践していきたいと考えております。例えば、集団で行っていた行事、外出等は継続しつつ、少人数での外出等も取り入れることで、より個々のニーズに合わせた、有意義な時間の提供、現状行っているケアの質の向上を目的とし、最低月一回の研修の実施(施設外研修含む)、それにより得た知識、技術を入居者様に還元し、今以上に快適で過ごしやすい空間を提供したいと考えております。



西村 菜緒子 (にしむら なおこ)

3階配属になりました西村菜緒子です。幼い頃から夢だったこの仕事に就けて本当に嬉しいです。入居者の方々との関わりを大切にして、少しでも多く楽しい時間を過ごして頂けるよう、頑張っていくのでよろしくお願ひします。



福永 瑞穂 (ふくなが みずほ)

2階で先輩職員の動きや入居者の方への働きかけや、言葉かけの仕方を見て、驚きとすごい一言でしかありません。入居者の方と職員の信頼関係があるからこそその言葉かけだと思いました。先輩職員の動きや言葉かけの仕方を見て、自分の物にしたいです。一日も早く苦手な事を克服し、先輩職員みたいに動きたいです。

編集後記

今回、初めて広報紙「きらら」の創刊号を発行させて頂きました。
「きらら」の由来とは、入居者様・ご利用者様がいつまでもきららと輝いていて下さる事を願ひ、つけました。
(命名 岸田 美佐)

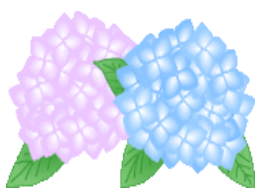
初心者ばかりの集まりなので、編集に時間がかかりました。本来は、四月中に発行する予定でしたが今になってしまいました。事をお詫び申し上げます。

ご意見・ご感想を頂ければ嬉しく思います。これからも広報紙「きらら」を可愛がって下さいます様お願ひ致します。

広報委員を紹介させて頂きます。

- 浅野 左記子 (事務)
- 奥野 篤志 (デイ)
- 村本 緑 (介護)
- 川崎 由美子 (介護)
- 古川 礼子 (医務)
- 大谷 江美 (事務)

今回の創刊にあたりご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。なお、掲載しきれない記事は次回に使わせて頂きますのでご了承の程よろしくお願ひ致します。次回の発行は秋頃の予定となります。



のぞみ・ひかり 綿帽子

以前まで勤務体制や人数の問題で難しかった行事・レク・外出などに力を入れ、1月に1回のスペースで行っています。

最近では、お花見や壁紙作り、映画鑑賞を行い、皆様の笑顔がたくさん見せてもらいました。

一度の行事で全員参加は出来ませんが、今後1月に2回・3回と回数を増やしていき、より多くの入居者さんに参加してもらえる様に頑張っています。

葛城 櫻井

いつでも元気一杯に、皆様を『一日一笑』されるようスタッフともども頑張ります。

金剛 西村

10名中4名の方が自立されており、マイペースに生活されています。利用者の方と会話をする時間をなるべく多くとる様に心掛けています。

いつも笑顔で接し、利用者の方も笑顔でいてもらえる様な、アットホームなユニットを目指しています。

2階の行事は、おやつ作り(2月バレンタインチョコ・8月かき氷等)外出は、初詣・花見等。毎月お誕生日会は皆でHAPPY BIRTHDAYの唄を歌ってお祝いしています。

二上 土屋

毎週月曜日に音楽療法があり、皆さん笑顔と歌声で活気があります。その成果を今後夏祭り・あんり祭・クリスマス大会に発表していきたいと思っています。

二上ユニットは家族様も一緒協力していただきケアをしています。フロアも飾りをつけ明るくしています。毎日笑顔のあるフロアが私達職員員の目標です。

さくら 小嶋

一人一人の生活パターンに添って支援できるように、又家で生活しているのと変わらない暮らしが送れるように個人の情報をたくさん収集し「その人らしい生活」が送れるようにしていきたい。

施設内での鍋・たこ焼きパーティーなどは月に1回程度行っているのですが、今後は個人がしたい事、行きたい所へ行く等1対1で外出できる様な企画を立てていく。

先日(5/11)に入居者様1名に対し、スタッフ1名でジャスコへ買い物に行

き「自分で欲しい物を選び、お金を払う」昼食も「店で選んで食べたい物を食べる」といった事を行いました。今まで当たり前様に行ってきた事をすることで大変生き生きとされ満足していただきました。

個人の希望が一つでも叶うようなユニットにしていきたいです。

ひまわり 大村

ひまわりユニットでは、ジャスコに外食や買い物などをしたりし、施設内だけでなく外へ出て、地域と関われるようなユニットを目指し頑張っています。美味しいものが食べたいが外食が出来ない時は、宅配寿司を頼んでユニット内で寿司パーティーを開催しました。今後も今よりもっと外出などをできるように頑張りたいです。

コスモス 真銅

入居者、職員共笑顔で毎日いてもらえる様なユニットで入居者一人一人がその人らしくマイペースに生活を送れるよう支援していきたいと思えます。

これから、一人一人入居者のご希望、好きな事して見たい事等お伺いしながら、強制せず今やりたい事を企画し行っていきたいと思えます。

ユニットでは、これからは暖かくなるので、外へ出る機会を増やし少しでも気分転換をはかってもらえればと考えています。外出・ドライブ・買い物・散歩等、又毎月誕生日会、6月～ベビーカー・フルーツポンチ作り、7月かき氷等を予定。

そよ風 佐々木

4月の取り組み
6月からは目標を立て、利用者様と一緒に何か形に残る物を作っている様に取り組む、又5月にアンケートを家族向けに出し何を望まれているのか少しでも家族の思いが取り入れられる様、働きかけを行う。意見箱も利用していただける様働きかけを行う。

デイサービス 奥野

私達は、「毎日楽しく、元気に」をモットーに笑顔の絶えないデイサービスを目指しております。ただ楽しいのではなく、充実感のある楽しさを提供していきます。今年の4月よりマシンによるリハビリを開始いたしました。一日のリハビリメニューを終えた方は、「しんどい、疲れた。」とおっしゃられますが、その表情は笑顔でとても充実感に満ち溢れておられます。

そしてスタッフは常に相手の気持ち

になって接することを心掛けております。自分達の親や祖父母を「このデイサービスに預けたい」「このスタッフに任せたい」と思っていただけのデイサービスを目指し、地域に根付いた活動を行っていきます。

レクリエーションなどのメニューも豊富に取り揃えて、強制はせず今やりたい事をやって過ごしていただけます。

訪問看護

医師の指示の下、在宅療養を安心して継続できるよう支援させていただきます。

訪問介護

安心して在宅生活を継続できるよう、出来ない部分・足りない部分をケアプランに基づいてサービス提供させていただきます。

居宅介護支援事業所

長年、親しんでこられたご自宅や地域で、お一人お一人のライフ(生命・生活・人生)を大切に介護計画を皆様の声に耳を傾け、皆様と一緒に考えています。

河邊 園可

個々のADLをしっかり把握し、その方に合った介助方法を見て、聞いて学びしっかり身につける。

何事にも積極的に取り組み、全力で頑張るので迷惑をかけますが、よろしくをお願いします。

西村 菜緒子

三階配属になりました西村菜緒子です。幼い頃から夢だったこの仕事に就けて本当に嬉しいです。

入居者の方々の関わりを大切に、少しでも多く楽しい時間を過ごして頂けるよう、頑張っていくのでよろしくをお願いします。

福永 瑞穂

正規職員になって1ヵ月が経ちました。そして、配属先も決まり5月から配属先で日々勉強しています。

この1ヵ月色々な事を学びました。一人一人利用者の方に合った言葉かけや、移乗の仕方、衣服の着脱、利用者の方が過ごしやすい環境作りを学び、充実した毎日を過ごしました。

5月からは、2階で日々勉強しています。先輩職員さんの動きや利用者の方への働きかけや、言葉かけの仕方を見て、驚きとすごい一言でしかありません。利用者の方と職員さんとの信頼関係があるからこそその言葉賭けだと思いました。

私は、まだ一人前でもなく、未熟者の半人前です。だからこそ先輩職員さんの動きや言葉かけの仕方を見て、自分の物にしたいです。

一日も早く苦手な事を克服し、先輩職員さんみたいに動きたいです。

結城 亜衣子

私の目標は、業務をなるべく早く覚える事です。まだまだ分らない事が沢山で、何をしたらいいのかも分らないので、積極的に業務を覚えていきたいと思っています。

いろいろな方に迷惑をかけるかもしれませんが、少しずつ慣れていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。